

| | 評価項目 (指標) | ○実践内容 ▲目 |
|--|-----------|----------|
|--|-----------|----------|

| | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|---|
| <p> 土筆、手立て </p> | <p> 自己評価 </p> | <p> 結果の考察、公表による成果と課題 () 4 </p> |
|-----------------------------------|---------------------------------|---|

校長所見

- 今年度も、稚葉村ユニット学習を定期的に実施した。尾向小学校とは昨年と同様に、また村内5校とも繋いだ5・6年生の社会科の授業も実施した。他校の児童と様々な意見交流ができたことで学びが深まり、複式指導の解消にもつながった。ICT機器の活用では、AI型ドリルも効果的に活用しながら学力の向上を図っていた。教員も、個々の指導力向上をめざして、互いの授業を見合ったり、各種研修に参加したりしながら、授業改善に取り組むことができた。
- 「不土野つ子あたりまえ4ヶ条」を意識する児童が増えている。次年度も引き続き指導を通していろいろなことを褒め自信をもたせることで自己肯定感を高め、いくともにも、相手のことを思いやる優しい言葉かけや行動ができる児童の育成を図ってきたい。
- 保健については、学校歯科医から直接話を聞く機会を設け、むし歯予防の啓発を行った。家庭の協力も不可欠なことで、今後も継続して指導していきたい。体力向上については、体育の時間のみならず昼休みに外で遊ぶことを推奨していき、体を動かすことの楽しさを味わわせることで、基礎体力や運動技能をより一層高めていきたい。
- 開かれた学校づくりについては、学校便りや学校HPで情報発信するとともに、地域の皆様が学校の教育活動に参加していただくことで連携を深めることができた。今後も地域との連携をさらに深めていきながら、不土野愛をもった児童を育成していきたい。